

基本構想「目指す都市像（食と伝統と誇りが結晶となる みなとまち塩竈）」アンケート結果概要

資料3

1. 回答結果概要

審議会 委員数	回答数	回答 率
25	19	76%

1 ふさわしいと思う	14	74%
2 考え方は良いと思うがもう少し工夫が必要だと思う	5	26%
3 ふさわしいと思わない	0	0%

2. 回答内容

No	問1	問2	問3	
	都市像評価	評価理由	都市像	提案趣旨
1	1	塩竈市の特性を言い表していることと、これからのまちに求められる重要な要素となること（誇り）が盛り込まれている。	(案1) 食の楽園 古(いにしえ)の地 輝きのまち 塩竈 (案2) 食王国 厳かな風土 輝きます 塩竈 (案3) 食の王国 古(いにしえ)の郷(くに) 彩りのまち 塩竈 (案4) 荘厳の地 食王国 彩りのまち 塩竈 (案5) 食の聖地 厳かの地 彩りのまち 塩竈 (案6) 食の聖地 厳かの地 個輝く聖地 塩竈 (案7) 食と厳かと個輝く 塩竈 (案8) 食 × 厳か × 個 = 塩竈 (案9) (食 + 厳か + 個) 輝 = 塩竈 (案10) 神聖の地 食の聖地 彩りのまち 塩竈 (案11) 食が彩り 人が躍る 神聖な地 塩竈 (案12) 彩りの食 輝く人 厳かな地 塩竈	食…水産 古…神社 輝き…個性が生かされる。市のイメージを考えました。 (第4次) 海・食・人が活きるまち→このキャッチコピーは良い。今でも活用できる。
2	1	イメージしやすく、分かりやすく、良いと思う。藻塩や結晶をとりあげたのは具体的で、塩竈の特色、特産のシンボルとしてもふさわしい。	食と伝統と誇りの結晶 みなとまち塩竈 (単に表現、調子、語呂の問題。新聞の見出しのように簡潔に)	歴史と文化と自然に恵まれ、港町の活気があり、コンパクトで小粒でもキラリと輝く塩竈のイメージにもびったりと思う。
3	1	塩竈市の地名の由来となった「塩づくり」をテーマとした「結晶」というキーワードを含めて、食、伝統、誇りということばがうまく使用されており、市民にもなじみやすいと思われる。		
4	1	各界からの意見希望を伺えば、総花的にならざるを得ないのは致し方ないと思いますし、10年後というスパンも、経済社会や地球環境の変容スピードを考えれば適うのかなと思います。		大都市から電車が走っている、海に近い、お社がある…という感覚で以前には「鎌倉市」を連想しておりました。仙台市の区部的な感覚「千賀ノ浦区」或いは「港区」、アクセス道路は三本が並行し、有料道路も絡み、JR線も複数、これほど利便性に優れるロケーションは他に類を見ない。分野3～5を中心に、チョイお出かけの「食の街」を目指す。
5	1	8つの塩竈物語 理解できる内容になっています。		小学生・中学生・高校生世代の人たちが、これからの塩竈市を感じられる次世代に目指す都市像を掲げるなら、塩の力強い結晶、誇り、名誉に感じる食と伝統を未来に向け、新たな魅力を創出、インパクトのある内容、イラストにも工夫が必要ではないか。
6	1	昔から伝えられている、文化・歴史を未来に伝え、継承しようとする意図が感じられる。		
7	1	塩竈の良い所が分かりやすく入れ込まれてあると思います。ひとりひとりひとつひとつを塩づくりと結晶にたとえたことは、生命にはなくてはならない物とも結びつき、とても身近に感じ、持続可能な社会を目指す上にも大事にしていきましょうという思いが伝わると思いました。		
8	1	<目指す都市像>実現のためには市民にもその像が浸透し、意識して生活を営んでいくことが重要だと考えます。押しつけにならないように、まずは塩竈市の魅力を市民ひとりひとりが実感して誇りをもつことが必要だと思います。この<目指す都市像>にはその魅力や大切にしたいことが具体化されているのでふさわしいと回答しました。	8つの塩竈物語はとてもわかりやすいので、「塩竈はこういうまちだね」とみんなで発信して、それが結びついてこの<目指す都市像>になるとよいと思います。	一基本構想の策定にあたって一の手のひらの写真が「塩の結晶」とわかるようにコメント（「手間をかけて塩づくりをしてくださった神秘的な結晶」等）を入れては と思います。
9	1	塩竈市の持つ個性が十分表現されている。	特段ございません。	特段ございません。
10	1	鹽竈神社・志波彦神社の諸祭事(藻塩づくり)の伝統と風光明媚の浦戸諸島の浅海漁業(海苔・かき)、新魚市場に水揚げされる鮪(東もの)、水産加工業(練り製品)、さらに歴史的建造物(勝画楼・丹六園・亀井邸・公民館本町分室)が一体となった内容		都市像に関する提案は事務局案がふさわしいと回答しましたので新たな提案はありません。 【まちづくりの基本理念についての附記】 今ある個性を大切に、みんなでつなぎ合わせて、新しい魅力を生み出し、そして創り上げていく、未来に続くまちづくり ⇒「創り上げていくことに、挑戦し続けるまちづくり」に修正を検討して頂ければ幸いです。
11	1	塩釜といえば食と伝統 それに加え塩釜人は誇りを持ち合っている市民が多い。藻塩の「結晶」をかけてるのも素晴らしい。	「食・伝統・誇りの結晶 みなとまち 塩竈」でもいいかも…	語呂的に…。
12	1	分かりやすく、イメージがくみやすい。		
13	1	・食、伝統、誇りを前面に出していきたい中で、「結晶」という言葉を用い、塩竈らしいワードに仕上がっていると思うから。 ・簡潔で伝わりやすいと思うから。	上記のワードでよいと思う為、特にございません。	
14	1	「塩」竈と「結晶」の組み合わせが、とても素敵だと思います。		

No	問1 都市像評価	問2 評価理由	都市像	問3 提案趣旨
15	2	・食と伝統と誇りが……の語呂が気になります。 ・下線の三種が結晶になるのでしょうか、「誇り」は何なのか理解してもらえるのでしょうか。 この際、「食と伝統“の”誇りが…」では、いかがでしょうか？		<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティの本市は、概ね近隣に生活上必要なものがそろっています。高台、並びに街並み等の景観を大事にして、安心して暮らすことのできる都市でありたい。 この際、的はずれの意見で申し訳ありません。 <p>本市にマンション建設禁止条例を作っていたきたい。 地方都市のマンションは築50年程で廃墟が始まるといわれています。 子孫に都市負債を残さないために力説します。 このマンションとは分譲式を対象とします。賃貸式は構いません。</p>
16	2	目指す都市像(案)は、考え方はとても良いと思いますが、「誇り」は読めない方もいるのではないのでしょうか。 同じ内容で、多くの方が理解できる表現にしてほしい。		
17	2	(問1、「2」選択注 (案)で賛成ですが…) 10年後、高齢化も進み、本市の歴史や文化を語る市民がどれだけいるか、水産業界も増々厳しい時代となると、食文化も現状とは異なるのでは。歴史や文化を大切に継承したい自分たちの世代から、10年後の働き盛りの年代となる方々の意見を伺いたいところです……。	市民力と共創力による 新しい交流都市“塩釜”	市民の底力と企業や団体など他の力を合わせ、歴史・文化との調和を図り、産業や観光などの活発な交流が出来る都市を目指すとの意味を込めました。
18	2			<p>次世代を担う子ども達に何を残したいか…そう考えたときに、やはり塩釜の食や伝統、歴史ある文化が浮かんできます。そういった点から事務局案として示された都市像は、とても素晴らしく共感できますが、誇りという言葉が個人的にはしっくりときませんでした。</p> <p>食・伝統・歴史ある文化…様々な魅力があるまち塩釜。まずは私たち市民が、塩釜についてよく知り、その魅力に気づき、住んでいるまちをもっと好きになって欲しいと思います。子ども達も学校行事などを通して、また地域の方から塩釜についての歴史・文化を教えて頂きながら、生まれたまち、住んでいるまち塩釜を愛し、大人になっても住み続けたいまちであって欲しいです。</p> <p>塩の結晶は、基本の形はサイコロ状だそうです。それが、成長する時の環境や条件の違いによって形を変え、様々な結晶ができるそうです。</p> <p>私たち市民も…家庭環境や、生活スタイルの多様化…一人一人置かれた環境は違うけれど、市民のみなさんは一人一人大切な存在であり、主役である。ひとが輝くまち、魅力あふれるまち塩釜であって欲しいと願っています。そのような思いから、人とのつながりを感じられるようなワードが付け加えられると素敵だなと思いました。</p>
19	2	結局、どのような都市像を目指すのかわかりにくい。何を最も大切にするのか、力を入れるのか。力強い結晶とは？	食 しおがま！！	資料のための都市像では意味がない。 子供たちや市民の方々の記憶に残るもの。 対外・対内に向けてキャッチーなものが重要だと思う。(基本理念も同様) 徹底的に地域No.1を作り上げるという想いを込めて。